

8  
August

# 俳句

(2025)



## 目次

た べ も の 俳 句	モ ー ロ ク 俳 句	歳 時 記 俳 句
10 〈	5 〈	1 〈

8月の和名は「葉月」。紅葉・落葉する「葉落ち月」から転じたものと言われます。

太陽輝く夏の盛りに葉が落ちる？と不思議に思うかも知れませんが、暦の上で8月は「初秋」。秋なのです。

言われてみれば、月半ばのお盆を過ぎると、吹く風に秋の気配が感じられるように思いますね。空が徐々に高くなる、夜が少し早く来るようになる……そんな季節の移ろい探しをしてみるのも良いかもしれません。

(宇佐美保幸)メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに

巣鴨とげぬき徒然俳句

<https://blog-haiku.777usami.com>

八月は透明な傘動く屋根  
向日葵も途方に暮れて夏終わる

ハイビスカスデニムブルーに変化して  
炎天や古墳の中はいかばかり

土用波瀬戸の海にも押しあぐる

国連の無駄な会議や原爆忌  
原発で高度成長原爆忌  
原爆忌生活守る原子力

深呼吸なまあたたかな今朝の秋  
暦だけ立秋の日の天気かな

遠花火ないものねだりポピュリズム  
マスコミはないものねだり遠花火  
巢鴨から墨田の花火遠花火



引力が歪みもたらす花火かな

溝蕎麦は蕎麦の世界の捨て子かな  
自家菜園西瓜一つが育ちけり

銘柄の区別もなくて稲の花  
狐の剃刀豪雨に耐えるしたたかに  
何を剃る狐のかみそりリコリスや

椿の実落ちて新たな命かな  
偽ニュース世にはびこりて鳳仙花  
演歌好き孤独も好きで鳳仙花

SNS 誹謗中傷敗戦日  
敗戦日たこ焼き食べて舌を焼き

芙蓉咲く絶望忘れ明日もまた  
つぎつぎと開く芙蓉もあとわずか



牛のためもつと美味しく泡立草  
嘘つくな話しかけたる泡立草  
写真だと美人に見える泡立草  
新聞はなんだかんだ泡立草

ドレミファソ音符並べる秋海棠  
カンナ見て鶏たち仲間見つけたり

大文字草短く長く花弁かな  
大文字草老いて育てる鉢植を

脳死論薄荷の花を摘みて嗅ぐ  
面倒が嫌と嘆いて赤のまま

終活で古本整理白木槿  
あざとさを隠す儂げ露草は

ひとときを青紫花色桔梗かな



「純愛」は昭和の遺産襖萩  
庭隅に藪蘭ひそと花咲かせ

一流と二流三流星流る  
星流る余生終活日々流る  
存在や我は我なり星流る  
流れ星言葉が足りず誤解され  
意味のなき社説も多く星流る  
流れ星緊急エリメールあり

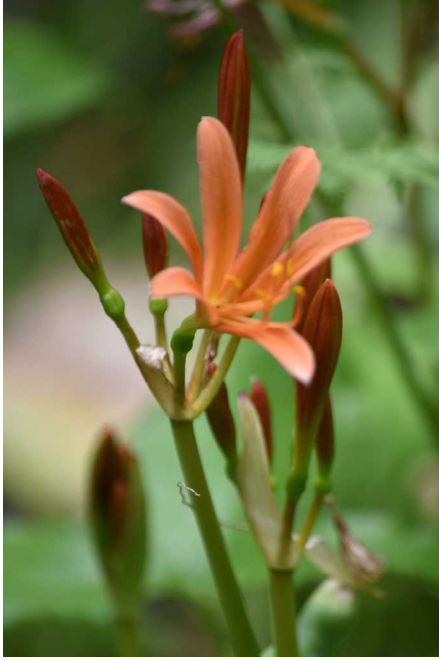
残暑かな朝夕だけに生きている  
残暑です社説変わらず駄文かな

新涼やパソコン元気取り戻し  
新涼にブログ原稿進みけり

ひとり見るスーパームーン八月尽  
八月尽秋田こまちを買いおきて



八月尽草の勢い衰えず  
うらやまし草の勢い八月尽  
救急車今日も深夜に八月尽



モロロク俳句

モロロクしあの世にひらく日傘かな  
打ち水やモロロクすれど風通る

汗ふいてひと日ひと日とモロロクす  
モロロクしいのち無惨に西日照り

モロロクし誰も一病秋を待つ  
モロロクしなほ織り姫に憧れて

モロロクし七夕なれど願い無し  
七夕や願いに倦みてモロロクす  
七夕や睡りむさぼりモロロクす

モロロクしされど人生秋に入る  
モロロクし西瓜の種を飲み込んで





モーロクし桃の皮剥くあきらめる  
桃食べて縦横無尽にモーロクす

盂蘭盆やモーロクすれどシャワー浴び  
モーロクし今日でできること終戦日  
敗戦忌また遠くなりモーロクす

モーロクし明日はあるかと盆の月  
モーロクしガラクタ処分盆に入る

モーロクしされど食欲生身魂  
モーロクしされど本気で生身魂

モーロクし悔し悔しと法師蟬  
モーロクし藪蘭ごとくひそやかに

モーロクし詮無きことを青瓢  
雲生まれ吾はモーロク残暑光



猫じやらししモーロクすれば風の中  
モーロクし風は友達猫じやらし

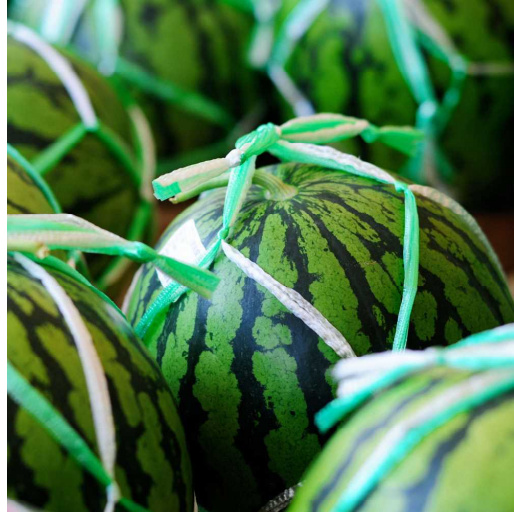
蝸が鳴いてモーロクまた進む  
モーロクしなまけごころに蓼の花

モーロクし小さく暮らし鳳仙花  
モーロクし蘇る過去溝萩や

モーロクしされど酒うま鉦叩  
会話減りモーロク進み男郎花  
モーロクし始まり終わり桔梗かな

モーロクし抜けし魂秋暑し  
秋暑しモーロク臓器ストライキ  
秋暑しモーロクすれば頭痛薬  
虚しさに鬼もモーロク萩の花  
忘却の救いモーロク萩の道





たべもの俳句

キンキンに冷えたビールに「マルチヨウ」を

いりごまをピーマンナムル副菜に  
大胆にまるごと焼きにピーマンを  
ツナ缶でやみつき無限ピーマンを

酷暑日に冷やシャブ豚丼ごまポン酢

そうめんをトマトジュースのぶっかけで  
秋に入るレンジ蒸し鶏野菜ダレ

夏終わり穂しそ天ぷら夕ご飯  
枝豆とちくわさつぱり甘酢あえ

とうもろこし芯も一緒に炊き込んで



白桃をゼリーで包む「桃泉果」

白桃の種まで食べたし男なら  
白桃も苦悩つぐんで熟しけり

完熟の桃にラム酒と蜂蜜を  
五味調和初秋野菜のお味噌汁

お盆にはシュウマイ弁当お土産に  
白だしで枝豆ご飯緑映え

塩ゆでしオクラごま和えおかか和え  
だし醤油オクラ和え物シンプルに  
レンチンで手軽オクラの醤油漬け  
おつまみにオクラ唐揚げ無限かな

玉蜀黍ベークン炒め懐かしく  
豚肉のニンニク焼きで夏バテを



夏バテにミネストローネつけうどん

ヘルシーに初秋野菜の煮びたしを  
秋鮭のちゃんちゃん焼きをみそマヨで

手間かけずオクラのサブジカレー味  
残暑かなポークソテーに黒胡椒

残暑かな衣ばかりの海老フライ  
しいたけの照り焼きつくねマヨネーズ

秋濁きナスの煮浸しめんつゆで  
秋めく日生鮭炊き込みちらしずし

秋さばを竜田揚げして夕ご飯  
めかじきをマヨから揚げに八月尽







